

研究区分	教員特別研究推進（教育推進）
------	----------------

研 究 テーマ	夏休みファーマカレッジ 2025				
研究組織	代 表 者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	橋本 博
	研究協力者	薬学部・教授	竹内 英之	薬学部・教授	森本 達也
		薬学部・准教授	高橋 忠伸	薬学部・准教授	刀坂 泰史
		薬学部・助教	紅林 佑希	薬学部・講師	砂川 陽一
		薬学部・助教	塚本 庸平		
		薬学部・教授	吉成 浩一	薬学部・教授	黒川 洵子
		薬学部・准教授	志津 怜太	薬学部・講師	児玉 昌美
		薬学部・助教	大岡 央	薬学部・助教	清水 聡史
		薬学部・教授	石川 智久	薬学部・教授	内田 信也
	研究協力者	薬学部・准教授	木村 俊秀	薬学部・准教授	三浦 基靖
		薬学部・講師	金子 雪子	薬学部・助教	河本 小百合
		薬学部・助教	山口 桃生		
		薬学部・教授	滝田 良	薬学部・准教授	原 幸大
		薬学部・准教授	吉村 文彦	薬学部・講師	菱木 麻美
		薬学部・助教	近藤 健	薬学部・助教	淵上 壮太郎
		薬学部・教授	尾上 誠良		
		薬学部・准教授	佐藤 秀行		
		薬学部・助教	山田 幸平		
	発 表 者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	橋本 博

講演題目
夏休みファーマカレッジ 2025
研究の目的、成果及び今後の展望
夏休みファーマカレッジは、高校生が大学教員から直接指導を受けながら科学実験を行うことで、科学的なものの見方を養い、科学に接する喜びを体験することにより、科学に対する興味や理解を深め、将来の夢や希望を育てることを目的とするものである。また、静岡県内の高校生を対象とすることで、県民に開かれた大学のイメージが広がるとともに、本学への入学希望者増加にも繋がる。さらに、実験指導の補助を通して、大学院生や学部学生の教育・社会活動への参加なども達成される。令和7年度は、「夏休みファーマカレッジ 2025 ～体験してみよう！『くすりを科学する薬学の魅力』～」をテーマに、衛生分子毒性学分野、医薬品製造化学分野、分子病態学分野、生化学分野、生命物理化学分野、薬理学分野、薬剤学分野、生体情報分子解析学分野及び実践薬学分野の薬学部の9研究室が企画・運営した。2025年7月31日（木）と8月1日（金）の2日間、公募により選抜された県内高校生69名が参加した。1日目は全体でオリエンテーションを行った後、各研究室に7～8名に分かれ、教員や学部生・大学院生の指導のもと、課題研究や演習に取り組んだ。2日目の午後は、2日間にわたった研究成果や演習内容について、各研究室に配属された高校生がパワーポイントスライドを用いてプレゼンテーションを行った。その際に、教員や高校生から多くの質問があり、活発な発表会となった。参加した高校生からのアンケート結果では非常に好評で、科学に対する興味や理解を深まったことが伺えた。参加者が本学薬学部へ入学することが多いことから、夏休みファーマカレッジは今後の進路決定における良い判断材料となっている。そのため、次年度以降も本事業の継続を強く推奨する。